

ルコトハ其孰レチ記載スルモ效用若クハ結果ニ於テ異ナルコトナケ  
レハ刑律上亦之サ區別スルノ理由アラサレハナリ(四十二年九月第一  
九七九號四十三年一月三十日判決「二一六頁」參照)

### ●傷害

(四十三年九月三十日判決)

▲第一審裁判所公訴裁判費用ヲ被告ニ負擔セシ  
メサリシ場合ニ控訴裁判所カ同審ニ於テ生シタ  
ル費用負擔ヲ命スルモ之ヲ以テ原判決ヲ被告ノ  
不利益ニ變更シタルモノト謂フヲ得ス(刑訴二)  
(四十三年九月十日棄却判決)

### ●誣告

(四十三年九月十八日棄却判決)

▲檢事カ數箇ノ虛偽ノ申告ヲ爲シタルモノト認メ  
其全部ニ對シ誣告ノ訴追ヲ爲シタル場合ニ裁判  
所カ其事實ノ一部ノミヲ虛偽ナリト認メテ誣告  
罪ニ問擬シタル以上ハ其他ノ事實ニ付キ特ニ判  
斷ヲ下ササルモ違法ニ非ス

按スル二人ナシテ刑事又ハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ヲ以テ虛偽  
ノ申告ヲ爲スニ當リ其處分ノ原因タルヘキ事實シテ數箇ノ不正行為  
ヲ掲タルモ單一ノ誣告罪ヲ構成スルニ過キサルナシテ檢事ニ於テ  
其申告ノ全部ヲ虛偽ナリト認メテ誣告ノ訴追ヲ爲シタル場合ト雖モ  
裁判所ニ於テ其事實ノ一部ノミヲ虛偽ナリト認メテ誣告罪ニ問擬シ  
タル以上ハ其他ノ事實ニ付キ特ニ判斷ヲ下ササルモ訴チ受ケタル事  
件ニ付キ裁判ヲ爲ササルモノト謂フヲ得ス(刑一七二刑訴一八四)  
(四十年九月三十日判決)

### ●私書偽造行使詐欺取財

(四十三年九月十一日棄却判決)

▲他人名義ノ金圓借用證書及ヒ延期證書ヲ偽造シ  
同時ニ之ヲ使用シタル所爲ハ一行爲ニシテ二箇  
ノ偽造文書行使ナル罪名ニ觸ルモノトス(刑一  
ノ一、五四二)(四十二年九月二十六號同年三  
月十一日判決「一四四頁」參照)

### ●詐欺取財及竊盜附帶私訴

(四十三年九月十一日棄却判決)

▲私訴ヲ審理スルニ當リ特ニ關係人ニ讀聞ケ又ハ  
示ササル證據ト雖モ公訴審理ノ際適法ニ其取調  
ヲ爲シタルモノナル以上ハ直チニ之ヲ私訴判決  
ノ證據トシテ採用スルモ不法ニ非ス(刑訴一九八)  
(四十年九月三十日判決「一〇六頁」參照)

### ●竊盜教唆

(四十三年九月十一日棄却判決)

▲被告ノ犯罪行爲ニ對シ共犯ノ關係アル者ト雖モ  
其事件ニ付キ訴追セラレサル以上ハ證人ト爲ル  
ノ資格ヲ有ス

按スルニ刑事訴訟上證人ト爲ルコトヲ許サレサル者ハ刑事訴訟法第  
百二十三條及ヒ第百二十四條ニ明示シアルヲ以テ是等法條ノ各號ニ  
該當セサル者ハ總テ證人ト爲ルノ資格ヲ有スルモノト謂ハサルベカラ  
ス而シテ所論證人ハ本件被告ノ犯罪行爲ニ對シ共犯タルノ關係ア  
リタルモ同人ハ本件ニ付キ訴追セラレタル者ニ非サルノミナラス  
前記法條所掲ノ各號ニ該當セサル者ナルコト記録上明カナルヲ以テ  
從テ證人ト爲ルノ資格ナ有スル者ナルコト疑ナ容レス(四十一年九  
月六六五號同年九月二十五日判決「一一六頁」及ヒ四十二年九月第一  
三九號四十三年二月三日判決「二二八頁」參照)

### ●殴打創傷及家宅侵入

(四十三年九月十四日棄却判決)

▲第一審カ舊刑法ノ輕罪トシテ判決シタル事件ニ  
付キ檢事ヨリ同法ノ重罪ナリトシテ附帶控訴ヲ  
爲シタル場合ニ於テ控訴審カ更ニ重罪事件トシ  
テ裁判ス可キ旨ノ決定ヲ言渡スモ控訴判決ノ效  
力ニ何等ノ影響ヲ及ホサス

按スルニ本件ノ如ク第一審裁判所カ舊刑法ニ於ケル輕罪トシテ判決  
シタル事件ヲ同法ノ重罪ナリトシテ檢事ヨリ附帶控訴アリタル場合  
ニ於テハ裁判所ハ其公列ナシテ直チニ受命判事ナシテ重罪ノ取調ヲ  
爲サシムルコトナシ得ルモノナルニ原院カ更ニ重罪事件トシテ裁判ス  
ヘキ旨ノ決定ヲ言渡シタルハ決定ノ要ナキ場合ニ決定ヲ爲シタルニ

四十三年 判決ノ效力ト無用ノ手續 犯罪行爲組成ノ分子 偽造文書内容構成ノ事項

二三一

### ●私印私書使用私文書偽造行使

(四十三年九月十四日棄却判決)

▲偽造文書ノ内容ヲ構成スル権利義務若クハ事  
實證明ニ關スル事項ハ必スシモ現實ニ存在シ且  
其事項ニ付キ詐偽ノ記載ヲ爲シタルニ因テ文書  
ノ署名者ニ實害ヲ與フル如キ性質ノモノナルコ  
トヲ要セス

按スルニ偽造文書ノ内容ヲ構成スル権利義務若クハ事實證明ニ關ス  
ル事項ハ必スシモ現實ニ存在スルモノニ係リ而モ其事項ニ付キ詐偽  
ノ記載ヲ爲シタルニ因テ文書ノ署名者ニ實害ヲ與フル如キ性質ノモノ  
ナルコトナ要セス故ニ全然存在セサル事項ニ付キ詐偽ノ記載アリ  
タル場合ニ於テハ之ニ因テ署名者ニ何等ノ實害ヲ及ホス虞ナキカ如

四十三年

單一意思ノ發動ニ因ル數箇ノ罪名

召募申ノ在郷軍人

町村制第一五條但書ノ意義

二三二

反證提出告知ノ手續 公廷ニ於ケル偽證及ヒ偽鑑定ト檢事ノ職權

刑第一〇四條ノ法意

二三三

シト雖モ苟モ其事項カ外形上権利義務若クハ事實證明ニ關スルモノ  
ナル以上ハ法律カ保護セントスル文書ノ眞正ヲ害シ延テ一般ノ人若  
クハ特定ノ人カ文書ノ眞正ニ付キ興フル信憑ナ害スルカ故ニ前示ノ  
場合ニ於テモ文書爲造罪ヲ以テ問擬スルナ相當トス (四十一年れ第  
八二〇號同年十一月九日判決「二二五頁」及ヒ四十二年れ第一六三六  
號同年十二月二日判決「二〇二頁」參照)

○詐欺並附帶私訴 (四十二年れ第二千百六十四號)  
四十三年三月十五日棄却判決

▲刑法第五十四條ニ所謂一箇ノ行爲ニシテ數箇ノ

罪名ニ觸ルトハ數箇別異ノ罪名ニ觸ルル場合ヲモ包

ハ勿論數箇ノ同一ナル罪名ニ觸ルル場合ヲモ包

含ス (四十二年れ第五八四號同年五月  
三十日判決「二六二頁」參照)

## ○召集不應文書偽造行使

四十三年れ第三號

同年三月十七日棄却判決

▲陸軍刑法第八條第二號ニ所謂召集中ノ在郷軍人  
トハ現ニ召集ニ應シ指定ノ召集部隊到著地ニ到

著シタル者ノ義ニシテ召集令狀ヲ受クルモ之ニ  
應セサリシ者ヲ包含セス

○監守盜盜 (四十三年れ第二百二十七號)

▲町村制第一百十五條但書ノ規定ハ區ノ出納及ヒ會

計ノ事務ハ收入役ヲシテ之ヲ取扱ハシメ町村長

ニハ其取扱ヲ爲ナシメサル旨趣ナリ (町村制)(三十  
九第一四四號同年六月六日判決)  
▲淫行勸誘 (四十三年れ第二百三十七號)  
四十三年三月十七日棄却判決  
▲刑事訴訟法第一百九十八條第一項後段ノ告知ニ基  
キ辯護人カ申請シタル證人ノ陳述ニ付テハ被告  
ノ意見ヲ聞クヲ以テ足リ重子テ之ニ對シ反證提  
出ノ告知ヲ爲スヲ要セス

▲文書變造行使詐欺取財並證憑隱匿 (四十三年れ第二百三十四號)  
四十三年三月二十五日棄却判決

▲證人又ハ鑑定人カ故意ヲ以テ不實ノ供述ヲ爲シ  
タル場合ニ受訴裁判所カ刑事訴訟法第一百九十五  
條ノ特別手續ヲ行ハサルトキハ檢事ハ普通ノ手  
續ニ依リ起訴スルノ職權ヲ有ス

▲刑法第一百四條ニハ刑事被告事件ニ關スル證憑ノ  
顯出ヲ妨ケ若クハ其效力ヲ滅失減少セシムルカ  
如キ所爲ヲモ之ニ包含ス

▲刑事訴訟法第一百七十九條第二項前段ニ依リ辯護  
人ト爲リタル者カ辯護士ノ資格ヲ喪失シタルト  
照

キハ辯護人タルノ権利モ亦當然喪失シ同項後段  
ニ據リ其権利ヲ保有シ得ルモノニ非ス

按スルニ刑事訴訟法第一百九十五條ハ證人若クハ鑑定人ノ供述當時其  
供述カ不實ニシテ且其故意ニ出デタルモノト思料セラル場合ニ於

ケル特種ノ處分手續ナ規定シタルモノニシテ偽證罪ハ無テ同條ノ手續  
ニ依ルヘキ旨ナ定メタルモノニ非サレハ受訴裁判所カ同條ノ手續

ヲ爲ササリシ場合ニ於テハ檢事ハ普通ノ手續ニ依リ起訴スルノ職權  
ヲ有スルモノナルヤ勿論ナリ

按スルニ刑法第一百四條ノ規定ヲ設クラレタルハ犯罪人ナ庇護シ以テ  
犯罪ノ搜査權ト其審判權トナ使害スルノ行爲ナ防止セントスル精神

ニ出タルモノナルチテ苟モ刑事被告事件ニ關スル證憑ノ顯出ヲ  
妨ケ若クハ其效力ヲ滅失減少セシムル如キ所爲ハ總テ之ヲ同條ニ依  
リ處斷スルノ法意ニシテ單ニ證憑其物ナ滅失セシムル所爲ノミナ則  
スルノ法意ニ非スト解スルヲ相當トス

○詐欺取財 (四十三年れ第二百八十四號)  
四十三年三月二十五日棄却判決

▲控訴審カ起訴事實ニ付キ檢事ノ付シタル詐欺ノ  
罪名ヲ變更シ横領罪ト爲シ詐欺ノ點ニ對シ無罪  
ノ規定ニ依リ其権利ヲ保有シ得ヘキモノニ非ス

○詐欺取財 (四十三年れ第二百八十四號)  
四十三年三月二十五日棄却判決

▲控訴審カ起訴事實ニ付シタル詐欺ノ  
罪名ヲ變更シ横領罪ト爲シ詐欺ノ點ニ對シ無罪

四十三年  
ノ要案 辯護人タル権利ノ喪失 被告ノ不利益ト爲ラサル判決ノ根柢 犯律ノ錯誤 詐欺取財罪  
二三三

○殴打創傷 (四十三年れ第二百三十三號)  
四十三年三月三十一日棄却判決

▲人ノ住宅ニ侵入シテ殴傷シタル事實ニ付キ殴傷  
ノ所爲ノミヲ論シ住宅侵入ノ所爲ニ付キ擬律ヲ  
爲サナル判決ハ失當ナリ

○收賄及詐欺取財 (四十三年れ第二百四十九號)  
四十三年三月二十一日棄却判決

▲詐欺取財罪ノ要件タル欺罔者及ヒ被欺罔者間ニ  
於ケル直接若クハ間接ノ財物授受ハ合意ヲ以テ

其成立要素ト爲スモノニ非ス

按スルニ詐欺取財ハ其必然ノ結果欺罔者及ヒ被欺罔者間ニ直接若ク  
ハ間接ニ財物ノ授受ヲ要件トスヘキハ勿論ナリト雖モ必シモ合意  
ヲ以テ該罪成立ノ要素トセス譬へハ偽造證書ヲ以テ裁判所ナ欺罔シ  
其公力ニ藉リ財物ヲ騙取セントスル場合ノ如キ被欺罔者ニ於テ其合  
意ヲ缺クモ詐欺取財罪成立ニ何等妨ナキカ如シ要ハ欺罔ニ基ク錯誤  
ノ結果被欺罔者合意ノ有無ヲ問ハス兩者間ニ財物ノ授受アルヲ以テ  
足レリトス

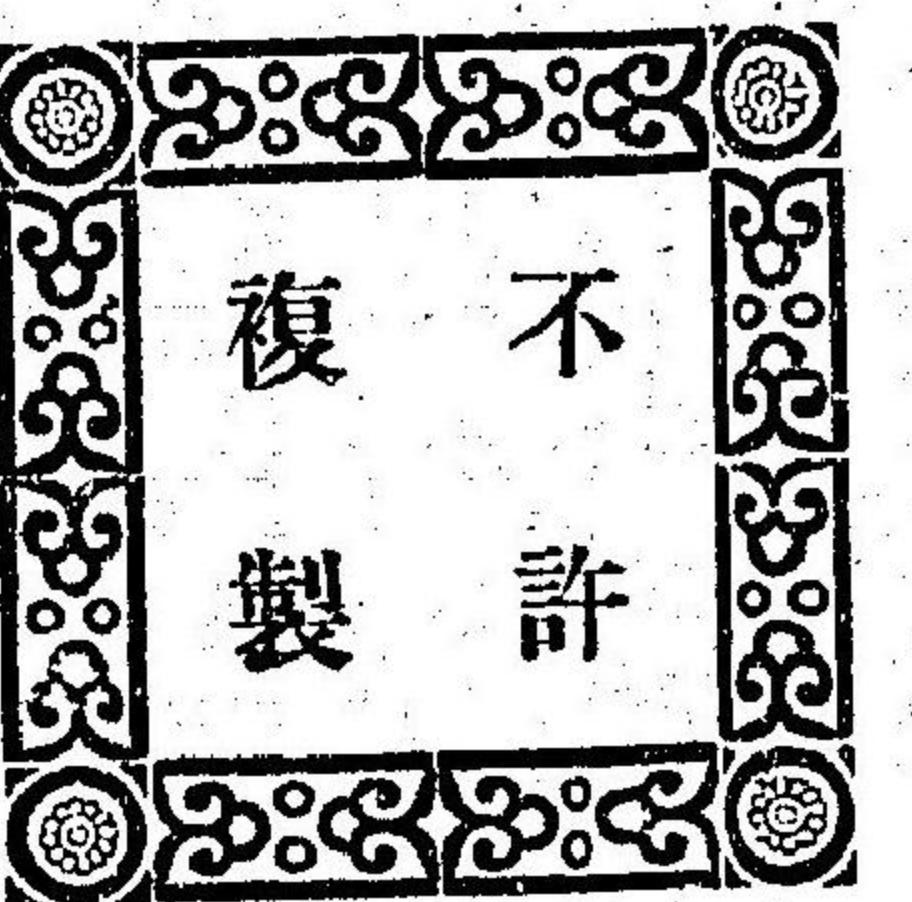
明治四十三年七月十二日印刷  
明治四十三年七月十五日發行

正價金四圓

發行者兼  
金田謙

自治館代表者

東京市神田區今川小路二丁目十一番地  
東京市京橋區西紺屋町二十六七番地



發行所  
法律書出版專賣  
自 治 館

東京市神田今川小路二丁目十一番地

印 刷 所  
佐 久 間 衡 治

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地

◎ 内閣總理大臣西園寺侯題文字

◎ 自治館編輯局編著  
施行諸法令悉皆引用、完全無比

近刊

◎ 製本菊版  
紙數約八百  
五十餘頁  
正價金貳圓  
上製金參拾  
錢增

# 新舊刑法正文

既

刊

本書ハ改正刑法ノ正文ト舊刑法ノ正文トヲ上下二段ニ對照比較シタルモノニシテ一見直チニ改正ノ點即チ新舊二法ノ差異ヲ知ルコトヲ得ベク本法ノ研究ハ勿論實務取扱上亦極メテ書ナリ此際購入ヲ希望ス



本書ハ改正刑法ノ正文ト舊刑法ノ正文トヲ上下二段ニ對照比較シタルモノニシテ一見直チニ改正ノ點即チ新舊二法ノ差異ヲ知ルコトヲ得ベク本法ノ研究ハ勿論實務取扱上亦極メテ書ナリ此際購入ヲ希望ス

多

年

社

會

ノ

要

求

ニ

迫

ラ

レ

年

世

論

改

正

案

ハ

單

ニ

大

革

命

ニ

一

部

ノ

修

正案ハ單ニ一大革命ニ一部ノ修正ニ非スノ宿題タリシ刑法改正案ハ急議會ヲ通過シ既ニ法律第四十五號トシテ公布セラルノ連ニ接セリ、蓋シ是之今回ノ法史ノ一大革命ニシテ新舊刑學思想ノ根本的ノ改正也、所謂舊法ノ純理主義ヲ排シテ新進學派トシテ新刑法ノ解説ヲ用セントセハ蓋シ誤ラルコト能ハス、況シヤ本案ニ於テヘ立法ノ主義アリ、其學說ヲ以テ辭フヨリ、明治卅四年ニハ本法改正案ノ參考書ヲ天下最先ニ上梓シ本法ニ關係有る所大半ノ省略シタルル如テ本法ノ實用的解説書ヲ出版ニスル所勤ナカラス、今ヤ社會全般ニ最モ重要司法ノ研究ノ發行セントシニヤ本法立案當時ヨリ徐ニ稿ヲ起シ案ノ修正ノ從テ屢々稿ヲ更メ修正ノ詳説シテ本法ノ效力ノ及ホス所、法官、司獄官吏、辯護士、檢察官等ノ如クニシテ形體内容ノ便利、且

多

年

社

會

ノ

要

求

ニ

迫

ラ

レ

年

世

論

改

正

案

ハ

單

ニ

大

革

命

ニ

一

部

ノ

修

自治館編輯局編纂  
新舊刑法正文

正價金參拾錢  
紙數千四百餘頁  
正價金貳圓七拾錢  
並製本菊版半裁  
紙數千七十四頁  
上製金貳圓七拾錢

判例全集  
新舊刑法正文

正價金貳圓七拾錢  
紙數千七十四頁  
上製金貳圓七拾錢

大歡迎  
前行政裁判所長官  
松岡康毅君題字

判例全集  
新舊刑法正文

正價金貳圓七拾錢  
紙數千七十四頁  
上製金貳圓七拾錢

正價金貳圓七拾錢  
紙數千七十四頁  
上製金貳圓七拾錢

内閣總理大臣西園寺侯題字  
司法大臣松田正久君序文

自治館編輯局

4

J.

班→全

製本菊版  
紙數約八百  
五十餘頁

新舊  
對照  
開創  
方法  
正確  
火

正價金參拾錢

本書ハ改正刑法ノ正文ト舊刑法ノ正文トヲ上下二段ニ對照比較シタルモノニシテ一見直チニ改正ノ點即チ新舊二法ノ差異ヲ知ルコトヲ得ヘク本法ノ研究ハ勿論實務取扱上亦極メテ便宜必要ニシテ坐右缺ク可カラサル書ナリ此際購入ヲ希望ス

新刊自治館編輯局編纂  
自治館法典


要ニ單ク掲異、是スニ異、**迎歓大**山理ノ決判ク悉ニ更ケ掲ヲ旨要決判ニ前モラ點論ノ被原ハニ合場ノ要必セ裁

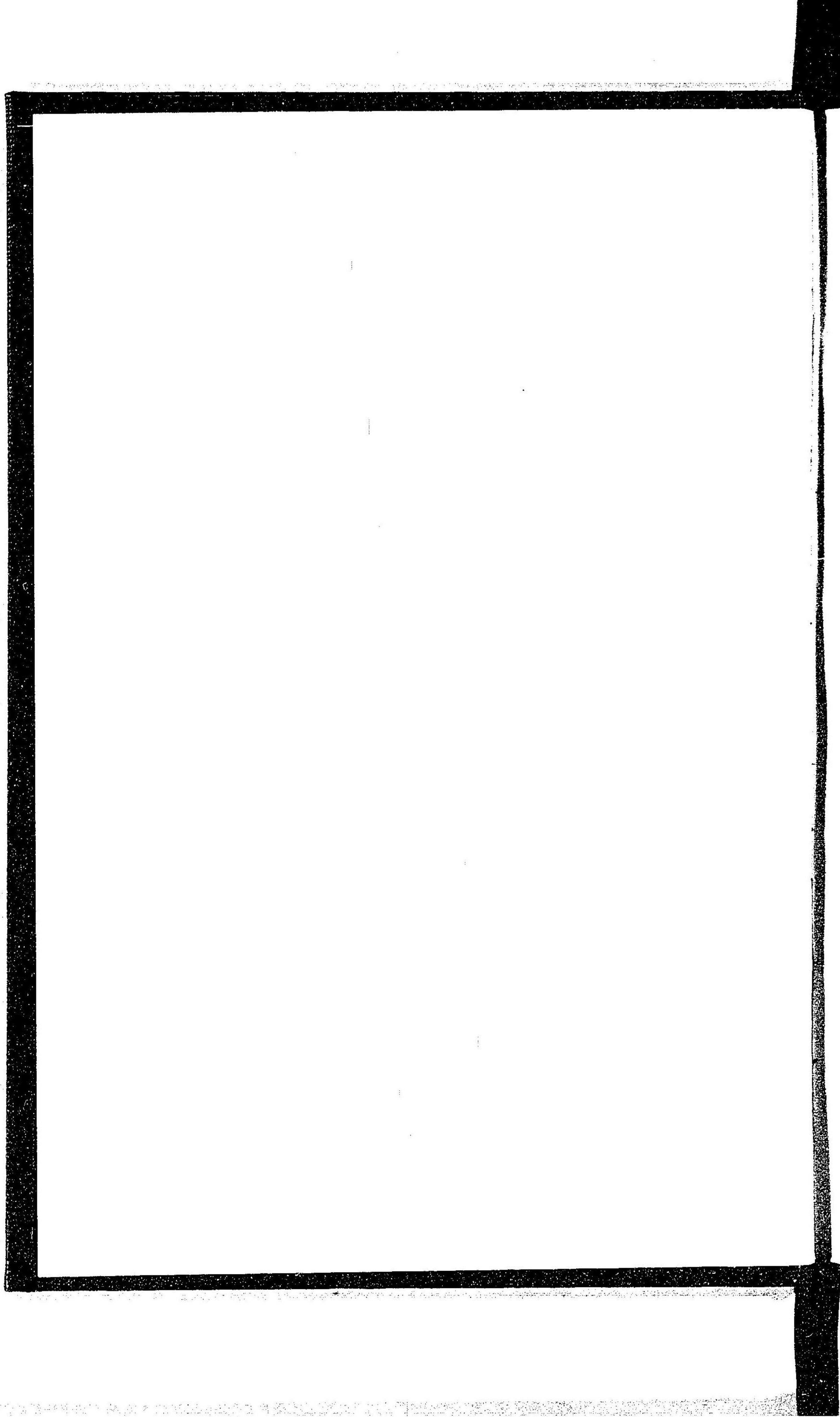
三版行  
政所判例  
全集


製本菊版大本  
紙數壹千七十四頁

行政裁判所開設以來四十年九月十日迄ノ判例網羅

◎農商務大臣松岡康穀君題字	◎自治館編輯局編著
◎公爵二條基弘君題字	◎自治館編輯局編著
◎大學院在學專攻法學士波部忠源君共著	◎陸軍經理學校敎科書
◎前大藏大臣子爵曾禰荒助君題字	◎前司法大臣清浦奎吾子題字
◎大藏次官法學博士若槻禮次郎君序	◎前司法大臣清浦奎吾子題字
◎自治館編輯局編著	◎自治館編輯局編著
<b>農商務例規類纂</b>	<b>地方制度實例總覽</b>
版再	版十
全一冊	全一冊
◎正紙數八百五十四頁本	◎正紙數七百七十頁本
◎正價金貳圓四拾錢	◎正價金貳圓四十錢
<b>法律大全</b>	<b>地方法則編物權編實用詳解</b>
版三	版八
全一冊	全一冊
◎正紙數千二十二頁本	◎正紙數四百六十頁本
◎正價金貳圓四拾錢	◎正價金壹圓四十錢
<b>民事訴訟法精義</b>	<b>民法實用詳解</b>
版六	版三
全一冊	全一冊
◎正紙數四百六十七頁本	◎正紙數七百八十頁本
◎正價金壹圓貳拾錢	◎正價金壹圓四十錢
<b>相續稅法義解</b>	<b>商法實用詳解</b>
版再	版六
全一冊	全一冊
◎正紙數四百五十五頁本	◎正紙數四百八十一頁本
◎正價金壹圓貳拾錢	◎正價金壹圓四十錢
<b>人事編例規總覽</b>	<b>民事訴訟手續法詳解</b>
版六	版六
全一冊	全一冊
◎正紙數五百四十四頁本	◎正紙數四百八十四頁本
◎正價金壹圓貳拾錢	◎正價金壹圓四十錢
<b>非訟事件</b>	<b>人事訴訟</b>







036562-000-4

CZ-2113-031

大審院判例全集

自治館

M43

BBR-0593



